

トップメッセージ

リテールのお客さま一人ひとりに寄り添い “あんしん”をお届けしてまいります

平素より、皆さまには日新火災をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。

本年1月1日に発生した令和6年能登半島地震で被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

当社として被災地域の皆さまに寄り添い、復旧・復興の力となれるよう、損害保険会社の使命を果たしてまいります。

昨年8月に公表しましたビッグモーター社による保険金不正請求問題など一連の不適切事案を起こしたことにより、お客さまをはじめ関係者の皆さまに大変なご迷惑とご心配をおかけしておりますことにつきまして心よりお詫び申し上げます。

当社は「お客さま本位の安心と補償をお届けし、最も身近で信頼されるリテール損害保険会社を目指す」を経営理念として掲げております。経営理念の原点に立ち戻り、



全社を挙げて再発防止に取り組みお客さまからの信頼回復に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、国内では経済活動の正常化が進み、日本経済は緩やかに回復基調を辿ってきましたが、能登半島地震や雷災などの自然災害の多発、米国金利の高止まりによる円安の進行やエネルギー価格の高騰もあり物価が上昇するなど、当社を取り巻く事業環境は大きく変化しております。

そのような中で、当社は事故や災害に際し最もダメージを受けやすい小規模な事業者や個人のお客さまをお守りするために、営業部門・損害サービス部門・代理店が一体となったサービスを追求しております。また社会課題の解決にも取り組んでおります。

2023年度はインターネット上で保険料の算出やお申込みが完結する小規模事業者向け賠償責任保険「事業をおまもりする保険」、および特定非営利活動法人空家・空地管理センターと共同開発した「空き家専用保険」を発売しました。

また、社員と代理店が一体となりお客さまの期待・ニーズに寄り添った事故対応を行い、事故に遭われたお客さまの不安を速やかに解消することに努めてまいりました。とりわけ地震や台風等の自然災害が発生した際には、被災されたお客さまにいち早く保険金をお支払いするため、被災地の社員・代理店のみならず、全国の社員が総力を挙げてお客さまへの対応を進めてまいりました。



経営理念

日新火災は、お客さま本位の安心と補償をお届けし、
最も身近で信頼されるリテール損害保険会社を目指します。

- ◆ 安心を実感していただける的確で誠実な対応を常に心がけ、お客さまにとってわかりやすい商品とご満足いただけるサービスを提供します。
- ◆ 健全性・収益性を確保し企業価値の向上をはかるとともに、積極的な情報開示に努め、株主の負託に応えます。
- ◆ 代理店の自主性・独立性を尊重するとともに、お客さま本位の価値観を共有し、相互の発展をはかります。
- ◆ 従業員一人ひとりがお客さま本位を実践し、いきいきと働くことができる企業風土を築きます。
- ◆ 損害保険事業を通じて地域社会の発展に貢献するとともに、従業員・代理店の地域活動や社会貢献活動への参画を支援します。

今年度は新たな中期経営計画がスタートします。

この計画では、「事故によるダメージを受けやすいお客さまの日々の負担感を減らし、より豊かな生活を実感していただける保険会社」という当社のなりたい姿を実現すべく、各施策を着実に推進してまいります。

最大のテーマは、「お客さま本位の日新火災ならではのビジネスモデル」を創ることです。

10年・20年先を見据え、事業環境が変化してもリテールのお客さまに“あんしん”をお届けするために「独自の成長」を追求してまいります。

「小規模事業者の皆さまにご安心していただける商品やサービス」、「社会課題の解決に貢献できる新商品開発」、

「お客さまのニーズに合った販売基盤の構築」など新たな成長戦略を実行し、独自の価値を創造していくことで、当社は「お客さま本位の安心と補償をお届けし、最も身近で信頼されるリテール損害保険会社」を目指してまいります。

今後とも一層のご愛顧、お引き立てを賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

2024年7月

取締役社長

織山 晋

お客さまにご満足いただくために

お客さま本位の業務運営

当社は、お客さま本位の安心と補償をお届けし、最も身近で信頼されるリテール損害保険会社を目指すことを経営理念に掲げています。

安心を実感していただける的確で誠実な対応を常に心がけ、お客さまにとってわかりやすい商品と、ご満足いただけるサービスを提供し、地域社会の発展に貢献するよう取り組んでいます。

また、“適正な業務運営に止まらず、お客さまをはじめとした社会からの要請に応えていくこと”（=コンプライアンスの徹底）は、当社の経営理念の実践そのものであり、事業活動のあらゆる局面において最優先にしています。

そして、お客さまに寄り添い、多様化するニーズを的確に捉えながら、「お客さま本位」の保険事業をより徹底していくために「お客さま本位の業務運営方針」を策定し、その方針

に基づいた具体的な取り組みを実行しています。

社会環境が大きく変化し、リスクも多様化する中で、保険事業の存在意義は、お客さまの暮らしや事業の安心・安全・安定に貢献することであり、事故や災害といった非日常的な状況の中でも、お客さまに安心していただくための「寄り添う力の担い手」となることが、当社に求められている使命だと考えています。

当社は、これからも、お客さまに寄り添う気持ちを大切に、「リテールのお客さま一人ひとりに寄り添い“あんしん”をお届けする」ことを追求していきます。また、よき企業市民として社会とともに持続的成長を遂げ、すべての人や社会から真に必要とされる良い会社“Good Company”を目指し、代理店と一体となって努力し続けてまいります。

※「お客さま本位の業務運営方針」は、消費者庁の「消費者志向自主宣言」に対応したものです。

お客さま本位の業務運営方針

運営方針1 お客さまの声を活かした業務運営

「お客さまの声」を真摯に受けとめ、安心を実感していただける的確で誠実な対応を行うとともに、お客さまにとってわかりやすい商品とご満足いただけるサービスの提供に積極的に活かします。

運営方針2 保険募集

お客さまを取り巻くリスクや、お客さまのご意向や情報を把握した上で、ご契約を締結するに際して必要な情報を提供しながら、ふさわしい商品・サービスを提案するよう努めます。

運営方針3 保険金のお支払い(損害サービス)

お客さまのご加入されている保険契約の内容に基づいて、お支払いが可能な保険金をお客さまに漏れなく案内し、迅速かつ適切にお支払いするなどして、お客さまに寄り添った損害サービスを実現するよう努めます。

運営方針4 運営方針の浸透に向けた取り組み

代理店や社員が常にお客さま本位の行動をしていくために、研修体系の整備や運営方針の浸透に向けた取り組みを推進します。

運営方針5 利益相反等の管理

「東京海上グループ 利益相反取引等の管理に関する方針」に則り、役職員一同がこれを遵守することによって、お客さまの利益が不当に害されることのないように、利益相反等の管理に努めます。

「お客様の声」への対応

「お客様の声」対応基本方針

当社は、「お客様の声」対応基本方針を策定し、「お客様の声」をもとに商品・サービスや会社業務全般の品質の向上を目指し、取り組んでいます。また、「お客様の声」への対応プロセスを継続的に改善することで、「最も身近で信頼されるリテール損害保険会社」としての社会的責任を果たすとともに、お客さま本位の業務運営を実現します。

「お客様の声」対応基本方針

「お客様の声」を真摯に受け止め、安心を実感していただける的確で誠実な対応を行うとともに、お客さまにとってわかりやすい商品とご満足いただけるサービスの提供に積極的に活かします。

「ISO 10002」規格への自己適合宣言

「お客様の声」への対応プロセスを全社で標準化するために、国際標準化機構 (ISO) において発行された苦情対応マネジメントシステム「ISO10002 (品質マネジメント-顧客満足-組織における苦情対応のための指針)」に準拠した業務態勢見直しを行い、2008年7月に公表しました。

現在は、この取り組みを一層強化し、「お客様の声」に基づいた業務品質の向上に努めています。

※ ISO10002は2004年に発行された国際規格です。規格への適合を自らの責任で確認することで、対外的に適合を宣言することができます。

「お客様の声」をお聴きする仕組み

「お客様の声」の受付窓口

当社では、お客さま相談室、テレホンサービスセンター、事故受付センター、ホームページ、代理店、全国の営業・損害サービス拠点等で「お客様の声」を承っております。

特に苦情に関しては、関連部門とも連携し、迅速かつ適切な対応を行っています。

■ お客さま相談室

相談対応窓口として設置し、お客さまからのご意見やご要望および当社や当社代理店への苦情や不満を承っています。

0120-17-2424

(受付時間 9:00~17:00・土日祝日除く)

2023年度は2,030件のご相談等を承りました。そのうち330件が「苦情と不満」となっています。

■ テレホンサービスセンター・事故受付センター

・日新火災テレホンサービスセンター

当社の商品やサービスに関するご相談やお問い合わせを承っています。

〈自動車保険〉0120-616-898

〈火災保険〉0120-156-932

〈その他の保険〉0120-718-268

(受付時間 平日9:00~18:00・土日祝日9:00~17:00)

・日新火災事故受付センター

保険金の請求に関するご相談やご不満を承っています。

〈自動車事故〉0120-25-7474

〈自動車以外の事故〉0120-232-233

(受付時間 24時間365日)

2023年度は63,728件のお問い合わせ等を承りました。そのうち669件が「苦情と不満」となっています。

■ ホームページ照会窓口

(<https://www.nisshinfire.co.jp/>)

当社ホームページ上にお客さまからのご照会専用ページを設け、商品やサービスあるいは損害保険全般についてのお問い合わせや、当社へのご意見等を承っています。

お客さまにご満足いただくために

アンケートの実施

当社ではお客さまの満足度やご意見を積極的にお聴きする取り組みとして、各種アンケートを実施しています。

アンケート等を通じてお客さまニーズの把握に努め、より一層お客さまにご満足いただけるよう代理店とともにサービス品質の向上を図っていきます。

■契約手続きに関するアンケート

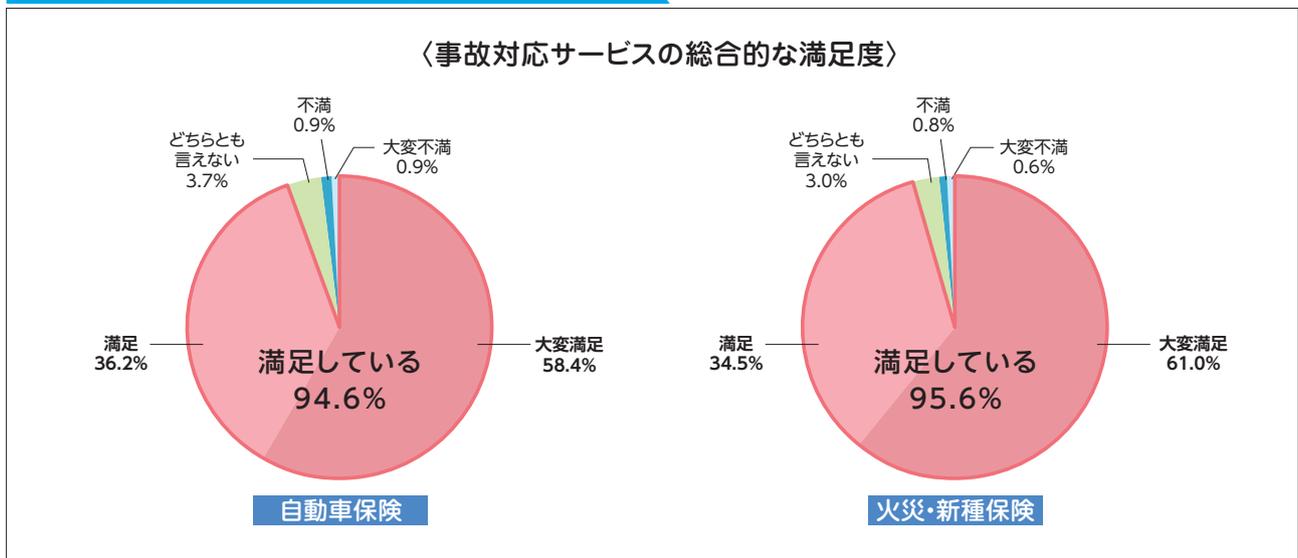
契約手続き時の対応に関するアンケートをインターネット上で実施しており、2023年度はご回答いただいた89.7%のお客さまからご満足の評価をいただいています。

■保険金のお支払いに関するアンケート

保険金のお支払い後に、事故対応サービスに関するアンケートを実施しています。2023年度はお客さまから25,133件のご回答をいただきました。

アンケートでは、事故受付から保険金をお支払いするまでの事故対応サービス全般や、担当者・代理店による対応へのお客さまの評価を伺っています。

2023年度 保険金のお支払いに関するアンケートより



お客さまからの苦情への対応

「苦情」とは

当社では、「お客さまから不満足の原因があったもの」を「苦情」として受けとめています。いただいた苦情には、迅速かつ丁寧に対応するとともに、お客さまからの貴重なご意見として業務改善にいかしています。

「お客さまの声(苦情)」受付状況

当社では全国の拠点から全社員が入力可能な「お客さまの声活用システム」により、全社を挙げて積極的に「お客さまの声」を把握し、その内容を記録しています。なお、苦情受付件数や苦情事例・改善事例等は当社ホームページにも開示しています。

■苦情受付件数

	2022年度	2023年度
1. 契約・募集行為		
(1) 商品内容(補償内容等)	33	19
(2) 契約継続手続き(手続き漏れ・遅れ等)	119	110
(3) 募集行為(お客さまへの意向確認不足等)	90	84
(4) 契約内容・条件等の説明不足・誤り	190	165
(5) 契約の引受(条件、制限等)	27	25
(6) 保険料の計算誤り	28	41
(7) 接客態度	25	22
(8) 帳票類(申込書、請求書、パンフレット等)の内容	58	28
(9) その他	111	165
小 計	681	659
2. 契約の管理・保全・集金		
(1) 証券未着・誤り	24	16
(2) 分割払・口座振替対応	51	65
(3) 契約の変更手続き	170	195
(4) 契約の解約手続き	166	196
(5) 満期返れい処理(手続き遅延、返れい金額等)	1	4
(6) 接客態度	5	20
(7) その他	33	40
小 計	450	536
3. 保険金		
(1) 保険金のお支払い金額	117	152
(2) 対応の遅れ・対応方法	580	632
(3) 保険金お支払いの可否	38	41
(4) 接客態度	300	283
(5) その他	6	7
小 計	1,041	1,115
4. その他(個人情報の取り扱いに関する苦情を含む)	69	107
合 計	2,241	2,417

■ 中立・公正な立場で問題を解決する 損害保険業界に関連した紛争解決機関

■一般社団法人日本損害保険協会 そんぽADRセンター

当社は、保険業法に基づく金融庁長官の指定を受けた指定紛争解決機関である一般社団法人日本損害保険協会と手続実施基本契約を締結しています。

同協会では、損害保険に関する一般的な相談のほか、損害保険会社の業務に関連する苦情や紛争に対応する窓口として、「そんぽADRセンター」(損害保険相談・紛争解決サポートセンター)を設けています。受け付けた苦情については、損害保険会社に通知して対応を求めることで当事者同士の交渉による解決を促すとともに、当事者間で問題の解決が図れない場合には、専門の知識や経験を有する弁護士等が中立・公正な立場から和解案を提示し、紛争解決に導きます。

当社との間で問題を解決できない場合には、「そんぽADRセンター」に解決の申し立てを行うことができます。

一般社団法人日本損害保険協会 そんぽADRセンターの連絡先は以下のとおりです。

ナビダイヤル(全国共通・通話料有料) 0570-022808
受付時間:月～金曜日(祝日・休日および12/30～1/4を除く)の午前9時15分～午後5時

※ナビダイヤルでは、各電話会社の通話料割引サービスや料金プランの無料通話は適用されませんので、ご注意ください。
※電話リレーサービス、IP電話からは以下の直通電話へおかけください。
03-4332-5241(そんぽADRセンター東京)
06-7634-2321(そんぽADRセンター近畿)

詳しくは、一般社団法人日本損害保険協会のホームページをご覧ください。(https://www.sonpo.or.jp/)

「そんぽADRセンター」以外の 損害保険業界関連の紛争解決機関

■一般財団法人自賠責保険・共済紛争処理機構

自賠責保険の保険金(自賠責共済の共済金)の支払いをめぐる紛争の公正かつ適確な解決を通して被害者の保護を図るために設立され、国から指定を受けた紛争処理機関として、一般財団法人自賠責保険・共済紛争処理機構があります。同機構では、自動車事故に係る専門的な知識を有する弁護士、医師、学識経験者等で構成する紛争処理委員が、自賠責保険(自賠責共済)の支払内容について審査し、公正な調停を行います。同機構が取り扱うのは、あくまで自賠責保険の保険金(自賠責共済の共済金)の支払いをめぐる紛争に限られますので、ご注意ください。

詳しくは、同機構のホームページをご覧ください。
(https://www.jibai-adr.or.jp/)

■公益財団法人交通事故紛争処理センター

自動車保険の対人・対物賠償保険に係る損害賠償に関する紛争を解決するために、相談・和解のあっせんおよび審査を行う機関として、公益財団法人交通事故紛争処理センターがあります。全国11カ所において、専門の弁護士が公正・中立な立場で相談・和解のあっせんを行うほか、あっせん案に同意できない場合は、法律学者、裁判官経験者および弁護士で構成される審査会に審査を申し立てることもできます。

詳しくは、同センターのホームページをご覧ください。
(https://www.jcstad.or.jp/)

お客さまにご満足いただくために

「お客さまの声」を施策にいかす取り組み

■ お客さま本位の業務運営委員会

お客さまにご満足いただけるサービスを提供するとともに、真のお客さま本位を実現させるため、社長を委員長とし、役員および複数名の社外委員（社外有識者、消費者代表）で構成する「お客さま本位の業務運営委員会」を設置しています。

この委員会では、当社が把握したお客さまに影響を及ぼす（可能性のある）業務運営について、「お客さま本位」の視点で確認・検証し、業務の改善につなげています。

「お客さまの声」等の情報を各委員間で共有した上で、十分な時間をかけて論議し、お客さまへの被害やご迷惑を及ぼす（可能性のある）事案について、お客さま対応（予防・被害の最小化）および改善策が確実に実施されていることを確認し、「お客さま本位」を基軸とした業務の遂行に努めています。

また、「お客さまの声」等を起点に商品・サービスや会社業

務全般の品質を改善する取り組みについて、評価・提言を行っています。

■ お客さまの声活用システム

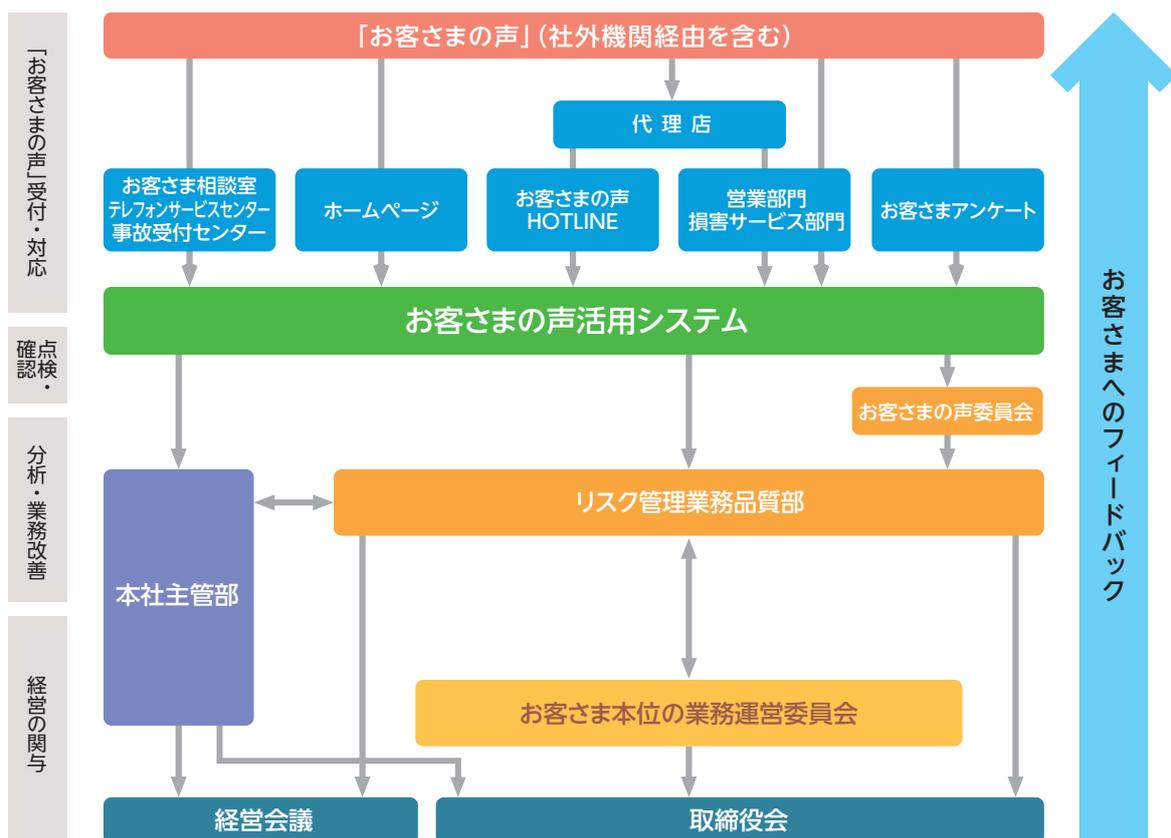
お客さまの声を施策にいかすため「お客さまの声」や「代理店の声」、またお客さまの視点に立った「社員の声」等を「お客さまの声活用システム」に記録し、受付から対応までの経過をすべて一元管理しています。

2023年度は4,922件の「声」を承りました。

■ お客さまの声委員会

全国の営業部門・損害サービス部門に「お客さまの声委員会」を設置しています。この委員会では、各拠点で受け付けたお客さまの声について議論・分析し、効果的で継続可能な再発防止策の策定や好事例の共有を行うことを通じて、お客さま対応品質の向上に努めています。

「お客さまの声」対応態勢



「お客様の声」をもとに実施した改善事例

事例1 火災保険のパンフレットの表記を改善

<お客様の声>

火災保険(ビジネスプロパティ)のパンフレットで、補償対象外となる損害の記載方法が分かりにくい。「保険金をお支払いできない場合」の欄に記載されているものの、「保険金をお支払いする場合」の欄の方向に矢印が向いており、水色で囲まれていることから、補償対象であると勘違いしてしまった。

<改善事例>

パンフレットの「保険金をお支払いできない場合」の記載を見直し、矢印などは使用せず、グレーで囲んで記載しました。

事例2 ドライブレコーダー(ドラレコ)取り付けサービスのご利用案内の改善

<お客様の声>

ドラレコ特約で貸与されるドラレコの取り付けを依頼する際、手続きをわかりやすくしてほしい。また、ドラレコ事務局に問い合わせをしたとき、住所、電話番号、車種などたくさん聞かれたが、法人契約では契約上の登録内容がすぐにわからないことがあるため、確認するのは最低限の項目にしてほしい。

<改善事例>

ご案内書類に「取り付けサービス(有料)があること」、「取り付けサービスを利用する際には、ドラレコ事務局に電話して予約が必要なこと」を明記しました。また、ドラレコ事務局にお電話いただいた際には、契約者名・車両登録番号をお伝えいただければ対応できるようにしました。

事例3 自動車保険非対面手続き「Webらく手続き」の開始

<お客様の声>

代理店から補償内容プランの説明を受けた後、じっくり検討したうえで、自分のタイミングで申込み手続きができるようにしてほしい。

<改善事例>

従来からあったお電話や郵送による手続き方法に加えて、お客さまご自身がスマートフォンやタブレット等で契約手続きができる、自動車保険のWebらく手続きを2021年10月より開始しました。

事例4 火災保険の申込書のレイアウトを改善

<お客様の声>

火災保険(ビジネスプロパティ)の申込書に印字されている特約名がコードのみで、契約内容がわかりにくい。また、自動付帯の特約はその旨記載してほしい。

<改善事例>

申込書のレイアウトを改善し、特約名や自動付帯される特約の説明を記載しました。

事例5 保険金お支払いのご案内の表記を改善

<お客様の声>

保険金の支払案内が届いたが、あて名がカタカナ表記であり違和感を覚えた。漢字にすべきではないか。

<改善事例>

お客さま向けの書類作成システムを改善し、漢字表記で見やすいお客さま向け書類を作成するようにしました。

事例6 お客さまからの連絡手段の充実

<お客様の声>

IP電話からドライビングサポート24に電話を掛けられない。繋がるようにしてほしい。

<改善事例>

『ドライビングサポート24(0120-097-365)』について、IP電話からもお電話を受けられるよう改善しました。

トピックス

【業界初】小規模事業者向け インターネット 完結型賠償責任保険「事業をおまもりする 保険」の発売

事業をおまもりする保険

日新火災



2024年1月、インターネット上で保険料の算出や契約手続きが完結する小規模事業者^{(*)1}向けの賠償責任保険「事業をおまもりする保険」^{(*)2}を発売しました。

本商品は、損害賠償リスクやカスタマーハラスメント(以下、「カスハラ」)などへの備えに加え、事業上のお悩みを土業等の専門家にご相談できるサービスや、損害賠償事故の発生時に示談交渉を日新火災が代行するサービスもセットし、お客様の事業活動を幅広くサポートする商品です。

インターネット上でお申込みが完結する事業者向けの賠償責任保険は、業界初となります(2023年12月8日時点、当社調べ。特定の団体向けの商品や、特定の代理店等のみを経由して販売する商品、少額短期保険業者の販売商品を除きます。)

〈開発の背景〉

事業の運営においては、さまざまな不測の事態の発生により、誰もが損害賠償責任を負うリスクを抱えています。また、最近では、カスハラなども社会問題化し、専門家を交えた本

格的な対策を講じる必要がある事案が増加しています。

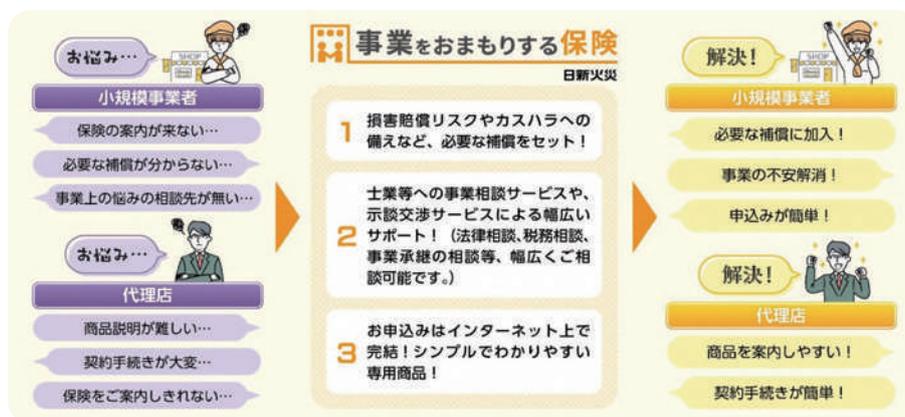
しかしながら、このようなリスクに備える保険である賠償責任保険の中小企業における認知度は50%以下、加入率は15%以下にとどまり^{(*)3}補償を十分にお届けできていない状況にあります。この一因として、補償の多様化による商品内容の複雑さや、契約手続きにかかる事務負担の大きさなどが課題となっていました。

当社では中小企業、なかでも小規模事業者の皆さまにお届けすることを想定し、インターネット上でお申込み手続きが完結する、シンプルでわかりやすい専用商品「事業をおまもりする保険」を開発いたしました。お客様の事務的な負担を大幅に軽減しただけでなく、事業に合わせてニーズの高い補償やサービスを予めセットし、小規模事業者の皆さまを幅広くサポート可能な商品となっています。

〈事業をおまもりする保険の特長〉

- 損害賠償リスクから事業をおまもりするだけでなく、顧客から受けた暴力や悪質なクレームなどからもお店や従業員をおまもりします。^{(*)4}
- 土業等への事業相談サービスや、事故時の示談交渉サービスなどで、幅広く事業をサポートします。
- お申込み手続きがインターネット上で完結する、徹底的にシンプルでわかりやすい商品です。

日新火災は、「事業をおまもりする保険」を通じ、多忙な小規模事業者の皆さまにとって利便性の高いお申込みプロセスを実現し、必要な補償・サービスを広くお届けすることで、お客様の事業の発展・成長をおまもりしていきます。



※事業をおまもりする保険のご案内動画はこちら
<https://eqm.page.link/4j2e>



(*)1年間売上高が1億円以下の事業者(個人事業主を含む)を対象とします。

(*)2正式名称は「統合賠償責任保険」です。

(*)3 2022年度に一般社団法人日本損害保険協会が行った調査結果によります。

(*)4 ご契約のプランによっては、補償されないことがあります。

特定非営利活動法人 空家・空地管理センターとの提携による空き家専用保険の発売

2024年1月、特定非営利活動法人 空家・空地管理センター（東京都新宿区、代表理事：上田真一、以下「空家・空地管理センター（*1）」）と共同開発した「空き家専用保険（*2）」を発売しました。



〈開発の背景〉

昨今、空き家は増加の一途をたどり、特に、適切に管理されずに放置される空き家の増加は社会問題となっています。こうした状況の中、2023年12月には「改正空き家対策特別措置法」が施行され、空き家所有者における空き家の適切な管理の必要性は、従来以上に高まっています。

このような環境変化を踏まえ、当社は、保険商品を通じて空き家の所有・管理に係る様々なリスクや課題を解消すべく、全国の各自治体や弁護士・不動産会社等の専門家などと連携した地域密着型の管理サービスを展開する空家・空地管理センターと業務提携し、「空き家専用保険」を共同開発しました。

〈空き家専用保険の特長〉

空き家の所有に伴う損害賠償責任の発生への備えや、火災発生時の近隣トラブルの回避など、空き家所有者の方々が抱えるさまざまな不安に対応する商品です。損害賠償リスクに加え、火災発生時の解体費用等も併せて補償することで、解体されずに放置される空き家の発生抑制とともに、近隣住民の方々の被害の抑制や防止、不安の解消を図ります。

日新火災は、「空き家専用保険」の開発・発売に加え、本商品を付帯する空き家管理サービスの普及活動等を通じ、空き家所有者や空き家の近隣住民の方々により一層の安心をお届けし、空き家に関する社会課題の解決に貢献してまいります。

（*1）法人概要

法人名	特定非営利活動法人 空家・空地管理センター (https://www.akiya-akichi.or.jp/)
所在地	東京都新宿区西新宿3丁目8-4BABAビル9階
代表理事	上田真一
設立年	2013年7月
事業内容	空き家・空地の管理、空き家・空地の活用に関するコンサルティング等

（*2）空家所有者補償特約を付帯した統合賠償責任保険です。

復興・地方創生

北海道厚真町との連携協定

2018年に発生した胆振東部地震からの復興において、厚真町では未だ、土砂災害により崩壊した森林の再生や防災・減災に向けた備え等の課題を抱えています。厚真町と日新火災は、これらの課題解決につなげることを目的とし、連携協定を締結しました。また、厚真町の特産品等の地域資源を活かした地方創生の取り組みなどを通じて、厚真町の豊かな地域づくりの実現を図ります。

主な協定内容

- (1) 厚真町の復興支援および災害に強いレジリエンスに向けた連携
- (2) 地域資源を活用した魅力的で持続可能な地方創生に向けた連携



2023年12月5日（火）厚真町総合福祉センターでの締結式の様子（左：厚真町 宮坂尚市朗町長 右：日新火災 執行役員 郡司源太郎）

トピックス

スポーツクライミング

当社は、2018年10月に「公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会」(以下、JMSCA)のオフィシャルパートナー契約を締結しています。



クライミング体験キャンプ等を通じた競技の普及

2023年は7月に佐賀県、11月に岩手県で「JMSCA クライミング体験キャンプ supported by 日新火災」を開催しました。

佐賀は中村真緒選手、菊地咲希選手、岩手は中村真緒選手、原田海選手、榎崎明智選手が講師となり、参加した小学生へのデモンストレーションや直接指導を通して、クライミングの楽しさを体験してもらう場を提供しました。



文部科学大臣よりスポーツ功労者顕彰を受章

当社社員である中村真緒選手がワールドゲームズ2022・バーミングハム大会のスポーツクライミング女子ボルダリング(2022年7月7日~17日に開催)において、世界トップクラスの選手を抑え銅メダルを獲得、この功績に対し、2023年8月にスポーツ功労者顕彰を受章しました。(※ワールドゲームズとは、オリンピックに採用されていない競技種目を対象とした国際総合競技大会です。)

ボルダージャパンカップ2024(BJC2024)で優勝

ボルダー種目で日本一を決める大会が2024年2月に開催され、榎崎明智選手、菊地咲希選手、中村真緒選手が出場し、中村真緒選手が見事初優勝を遂げました。

